

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月27日

事業所名 おきなわインターナショナルデイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	・児童数に応じて公園や児童館などへお出かけしている。	今後も地域の施設も活用していく。
	2	職員の配置数は適切である	6		・職員が少ない時は、他教室へヘルプ依頼をしたり、見守りができる活動内容へ変更している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4		特性に応じた工夫を考えながら改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		PDCAサイクルを意識しながら業務改善に努めて参ります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		評価の結果共有しながら改善していきたいと思えます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		ホームページへの掲載だけでなく毎月のレターへの掲載も検討していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		第三者の評価も検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
援の提供	16		5	1		個別訓練も積極的に実施していきたいと思います。
	17		5			
	18		4	2	・毎日出来るようにしているが、出来ない時は、業務日報や翌日の朝のミーティングにて共有している。	終礼を取り入れながら共有する工夫を改善していきます。
	19		6		・対応に困ったことがあれば、職員間で共有して改善につなげている。	
	20		6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21		4	2		引き続き確認を行いながら、ふさわしい者が参加できるよう改善していきます。
	22		6			
	23		1	5	・対象児童がいないため、行ったことがない。	
	24			6	・対象児童がいないため、行ったことがない。	
	25		6			
	26		5	1		担当者会議等の機会を活用しながら情報共有に努めて参ります。
	27		4	2		積極的に連携しながら、研修等受けられるように努めて参ります。
	28		2	4		児童館への交流は行っていますが、その他の児童との交流の機会を検討していきたいと思います。
	29			6		参加できるよう努めてまいります。
	30		6			
	31		4	2		ペアトレ等の支援の機会を計画していきたいと思います。
32		5	1		契約時や質問があった際には、その都度説明を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		保護者会を開催していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	・ハロウィンなどのイベント時に地域交流を行っている。	招待型の地域との交流も検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2		今後周知や訓練の実施も定期的に実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2		アセスメントで確認を行っておりますが、予防接種なども確認できるよう検討していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		医師の指示書の確認をできるよう努めて参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1		・契約時にやむを得ず身体拘束を行う場合について説明しておりますが、更に分かりやすく行えるよう改善してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。